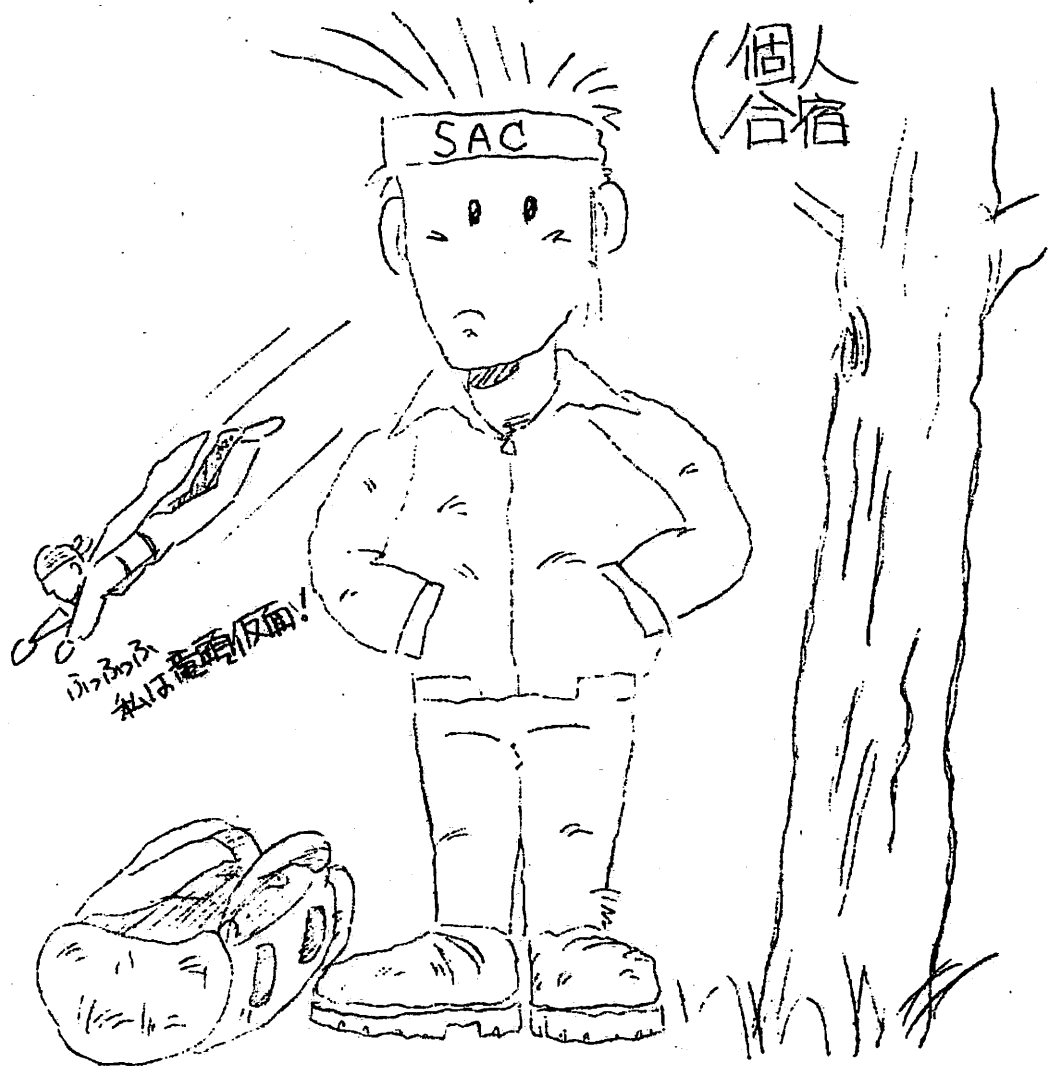


# 85' 夏山山行報告

(個人  
合宿)



信州大學山嶽会

# INDEX もくじもくじ.

1. 針ノ木
2. 屏風(大スラブ)  
屏風(奥又滝谷)継続
3. 屏風(東稜)
4. 奥又
5. 滝谷  
ハク岳
6. 屏風(東稜)
7. 北鎌
8. 錫杖の岩場
9. 屏風(JECCトラア状インゼルト)
10. 夏期縦走合宿(立山~槍穂~上高地)
11. " " (五竜~槍穂~上高地)



# 1. 針木

1) Xバー L. 川端 三野 飛田 安田 松田

2) 日程 6/30 ~ 7/2

3) 行程

6/30 扇沢 → 鳴沢 → 赤石沢 →  
7:40 8:40 9:50  
→ 2139地点 ( ~ 2:30 ) → T.S  
11:40 (雪訓) 針木峠  
16:00

7/1 起床 → 沈殿  
5:30

7/2 起床 出発 → 針木岳 → T.S 撤収  
3:00 4:15 5:35 6:15

→ (雪訓 (7/1から)) → 扇沢  
下山 12:30

# 2. 屏風・大スラブ

1) Xバー L. 古賢 下田

2) 日程 7/29 ~ 7/31

3) 行程

7/29 ① 徳沢ポルター

7/30 ① ST 命名. ヒバーク. 7/25. 下部スラブ  
14:00 T4 取付前の岩小屋をポルターと  
左端のポルターと繋ぎ. 7/1-化233  
た.

7/31 ① 7:00 取付 — 11:40 横断バネよりIP登り、下降 — STA

(コメント)

ルート自体 単調なアブミのかけかえで、つまらない。  
おまけに暑くおびただしい。扇風機は落石も落した  
秋が最高だと思ふ。

扇風(奥又滝谷)継続 — 雲後

1) Xバー L、角谷、三野

2) 日程 7/31 新人合宿 B、C

8/1 T4取付 → T4雲後取付 — 終了 →  
5:30 7:15 1:10

→ 頭 → 湊沢  
4:20 6:30

森にテント  
おまけおまけ

(コメント)

ルート通り、扇岩からのIPは、トイレットが  
エビになる。

3 扇風東後

1) Xバー L、森、T田 2) 日程 7/31 ~ 8/2

3) 記録 7/31 横尾BCまで

8/1 B.C. — T4取付 — T2 — 終了 —  
4:05 5:30 7:10 14:30

— 扇風の頭 — 湊沢  
16:10 18:40

8/2 湊沢 — 5.6a.7.11 — 奥又 大系の  
10:10 11:30 13:40 ルート(8/1)

(コメント)

暑くおびただしい。一緒に登った韓国隊のほやりにびっくり。  
東後は2P目と4P目が40mの間に2回しかおびただしい。

# 4 奥人定着

Member) △ 川端, 瀬川, 豊田, 小野, 飛田,  
中村(9) 中村(2) 松田.

日程) 8/2 ~ 8/6

## 行程記録)

8/2 (金) 天気 <E> 時々晴 一時にわか雨

サマ天 → 明神 → 徳沢  
10=30 10=55 12=40

→ 奥又池

6=20

- ・ 明神手前で中村(2)がコケておたごしたため、本隊と別れてサマ天へ帰った。
- ・ 奥又池で角谷・三野ハイパー、森・下田ハイパーと合流し、B.C とはした。

8月3日(土) ①

Aハイパー △ 下田, 中村(9) 前徳IV峰 東南面  
中大ルート

取付 8=00

終了 10=15

5.6のころ 11=45

BC 13=20

) 5.6のころ ※階段状で困難を感じない

取付の草付がは.ま.り(ない)

落石には注意。

B パーティー 山端 瀬川 IV峰正面壁松高ルート

BC 6=25

取付 8=10 ) 7ピッチ

終了 12=50

5.6のコル 14=05

BC 15=15

※ 快適な登りだった  
晴れるとみつく  
のどがかわく

C パーティー 山 三野 飛田 IV峰南面明大ルート

BC 6=30

取付 8=00

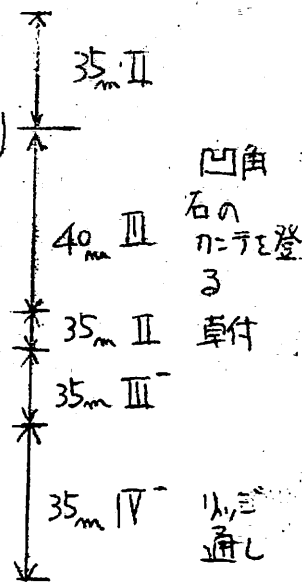
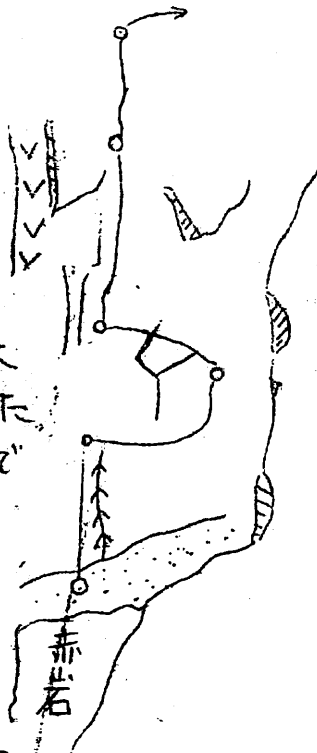
終了 10=30

5.6のコル 11=45

BC 13=20

※ 取付を間違え、明大  
と中大の間のルートを登っていた。  
1ピッチ目は多少かき気味で  
二わがた。残りのピッチ  
はそれほど難しくなく  
どんどん行ける。

途中ピッチはあまりなく  
浮石が多い。先行パ  
ーティーの落石に悩まされた。  
(バグ)



D<sub>11-31</sub> - L<sub>△</sub> 角谷・豊田 IV峰正面壁

北条・新村ルート

BC 6=10

取付 7=45 ) 6Eの予

終了 11=30

5.6のミル 14=05

BC 15=20

\* A<sub>1</sub> は 疲れた (13時)

A・C, B・D 11-31-18 沢を水終点付近で合流し  
帰天した。

E<sub>11-31</sub> - L<sub>△</sub> 森 松田 雪割

BC 6=30

B沢 6=50

小野の足が悪く森沢に北流する

雪割 開始 7=20

終了 13=00

BC 13=20

\* 雪上技術が前より悪くなった気がする

(207)

8月4日

松高北一十 山角谷 飛田 小野

① BC 発 5:35

① 取付 6:20

|

7P

↓

① 終了 11:40

① 下VIの班 13:20

① BC 着 14:30

ハンチを乗越す時、アア三を放置したという

~~生卵をこぼしてしまっていた~~ 虹毛暑小目でした

(飛田談)

北条新村 北一十 山三野 中村

取付 6:40

|

3P

↓



↓

ハイマツ手紙 8:10

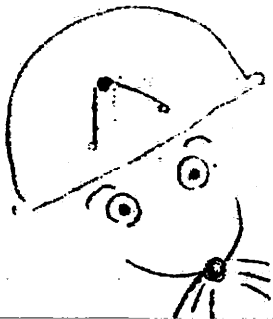
↓

2P (A)

↓

終了 11:50

工場のいきなり挑戦という感じでかなり悪  
戦者闘した。毛の工作の練習としておま  
かた。全体の時間がかかりすぎたような感じ  
であった (中利談)



カリエール

毛のワーク

1 明大北一 川端 瀬川 豊田

取付 (赤石・上) 6:45

1P 40m

2P 40m

3P 40m

4P 四角 L字バツ?

5P 40m

6P 30m

↓

終了 11:00

下 VI の口 13:15

BC着 14:10

とたどると L字洞穴の方向へ向えばいい  
その日はかなり難しかった 4P. 5Pの日は  
L字洞穴の右へ登ったが赤石赤石で  
あった (瀬川談)

曹訓 山森 松田

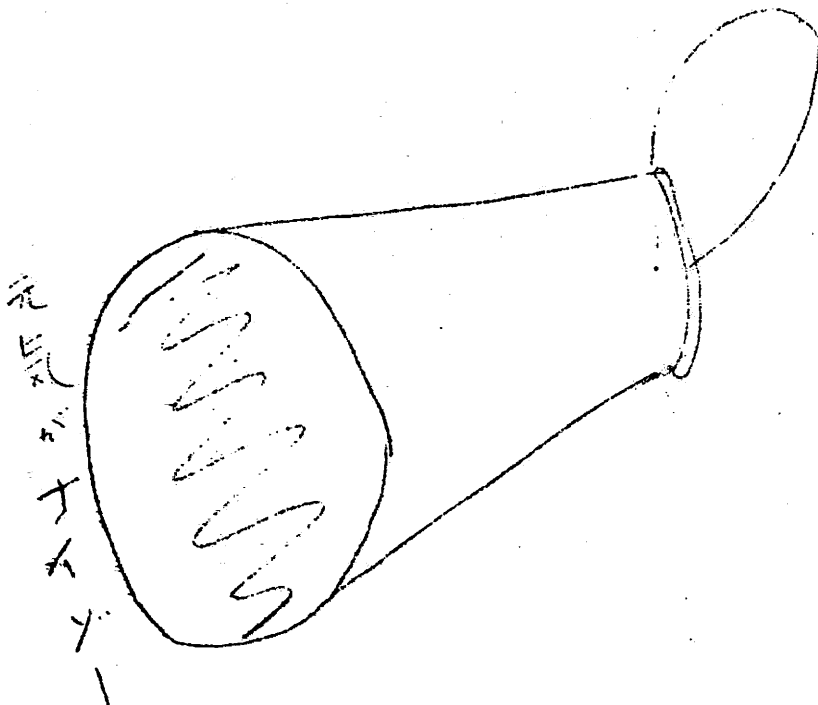
B沢 6:00

曹訓開始 6:30

終了 11:20

BC着 12:00

かなり上達したと思う。特に手合対しては  
いふことがたつてはたつたろうか。  
途中でB沢上部からの塔布でビビッて  
しりぞいた (松田談)



8月5日 快晴→曇り

○前穂IV峰 中大ルート

Member L 森, 飛田

5:30 B.C 発

7:10 取付 60m程1-ザイルで登る

8:40 終了 3P+ハコハコ1P

9:40 下田隊に合流

10:10 出発

11:35 5.6のコール

13:00 B.C

初めの2Pは傾斜も緩くハコハコ行けた  
浮石が多いのが難点

○IV峰 明大ルート

Member L 下田, 松田

5:30 B.C 発

6:50 取付

9:40 終了 5P

10:10 出発

11:35 5.6のコール

12:40 B.C

3日目にしてルートの完全トースができた

○IV峰 松高ルート

Member L 三野, 中村, 豊田 2:00 5.6コール

5:30 B.C 発

6:30 取付

11:30 終了

3:15 B.C 着

◦ IV峰 北条新村ルート

Member L 川端、瀬川

5:30 B.C 発

6:25 取付

8:40 ハイマツテラス

12:45 終了

2:00 5.6のヨル

3:15 B.C

ピタクルのあとは高度感があって最高だが  
小さな石がうなりをあげておちていくこと  
が多く要注意

8月6日 <土>

Member L 森、下田、川端、瀬川

豊田、小野、飛田、中村(貴)

松田

8:00 B.C 発

11:00 徳沃

12:15 サマ天

## 5. 滝谷

1) 8月6日 ~ 8月17日

2) L. 角谷、三野

3) 8/6 ○ → ●

8:00 ○ 奥白滝

8:45 ○ 5.6のコル

9:35 ○ 洞沢ヒュウテ

12:00 ○ 南後テラスのち ● へ。

8/7

朝から雨。天気図を書いても回復しどうもないので下西。

## 八ヶ岳

1) L. 大前、江口、豊田

2) 8月7日 ~ 8月8日

3) 8/7 ○ → ●キ

2:30 ○ 美森山

5:00 ● 林道の終点 (地獄谷付近)

8/8 ●キ

6:00 ●キ T.S 麓

8:00 ●キ 美森山

天候が悪かったので、沢登りができなかった。林道をつめてから沢へ降りる時アアサイルンが必要。林道の途中で沢においた方がよい。岩小屋が見つからなかった。

## 6. 屏風雲稜

1) L. 古賀, 川端

2) 8月9日

3) ◎

4:30 横尾 飛

5:50 T4尾根 取り付き

T4尾根 サイ 3P + コンテ ルート四通り

6:50 T4

雲稜 サイ 12P ルート四通り

12:00 終了 (終了点 一時間程休憩)

1:30 屏風の頭

2:30 最低コル

4:00 奥又松高ルニ 出合い ⊗

5:00 徳沢

T4尾根取り付き 少し右に絶好のビュアークポイント (ホテル竜頭) あり、又扇状テラスでもビュアーク可。

全体に高度感のありルートで非常に快適、人工もさほど難しくなく、本番の人工初めてでも可。

最後のビュアの草付ミルニせは落石を落ししやすいので、後続等ある場合は要注意!

## 7.北鎌

1) L.角谷、川端、江口、瀬川

2) 8月11日 ~ 8月13日

3) 8/11 ◎ → ●

7:50 サマ天

8:58 徳沢

2:00 旧槍沢小屋 雨と江口の不調の為ここでT.S

8/12 ●

5:35 T.S.

8:45 霧殺生天場 北鎌を止め、ここで雨があがるのを待つ。

8/13 ◎ → ● → ◎

6:30 T.S

6:45 肩

8:50 取り付き

(○角谷、江口 → 小槍右ルート  
○川端、瀬川 → 小槍左ルート)

(左ルート) 1P 35m 凹角A1  
2P 30m クラック途中から左上

終了 10:30

11:45 肩

12:00 殺生

4:25 横尾

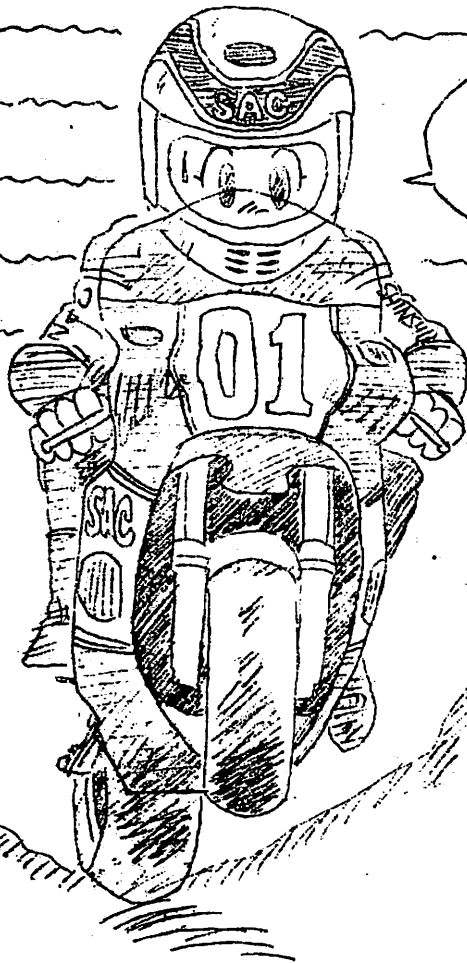
5:30 徳沢

左ルートのピンは要所々にピンが数本ずつあり、  
そのうち1本は、しっかりしていた。雨で岩が濡れて  
いてあまり良くなかった。



ページがあまってしまいました。

MEMO



ひたすら  
前進!?



← ここで生活するのは危険!! dangerous.

## 8. 錫杖の岩場

メンバー 藤井, 岩村, 8/14 ~ 8/18

8/14 鳥帽子前衛フェース 左方カテ～シュートルル十  
右保沢下降

8/15 同. -ルンセ"右保あたりのルート  
エボン岩 右岩稜3-4級の外た人なとニ  
右保下降

8/16 鳥帽子前衛フェース ニルンセ"あたり  
コルより反対の沢下降

(感想) 全体に岩がしかりしているので楽しい。

あまり人気のないルート 人工ピッチは残置ピン  
が悪いがストッパー、フレンズがけっこう使用できた。


ルンセ"は他に比べ全体にもるかった。

前衛壁と鳥帽子岩を~~つなげて~~繋いで登ると10ピッチ  
以上にもなりかなり充実した登攀になる。

人の多い時期 あるいは屏風にゲップが出そうな  
時来るとよいぞんしょう。

## 9. 屏風 JECC ルンゼ 状スラブルト

メンバー 岩村, 角谷

- 8/19
- 4:00 サマテン
  - 7:30 取付
  - 10:00 中間のテラス
  - 1:10 終了
  - 1:50 雨をさけツェルト
  - 2:45 ツェルトをたたんでカモシカ尾根下降
  - 4:30 本谷 ばし
- ルートはほぼ"ルート"   
 通りをかぶる  
 懸垂 2P

カモシカ尾根の下降は、一度行ったことのある人と降り  
 ほぼが"いいし"かえ、している時、夜間などは頭を  
 下ろさなければならぬ。下部が非常にたのしいルートである。

## 屏風 - ルンゼ

メンバー 岩村, 川端, 塚本(部外)

- 8/21
- 6:00 サマテン
  - 8:30 横尾の岩小屋
  - 10:00 -ルンゼ取付
  - ニルンゼ ギヤル 2P 懸垂 2P
  - 12:00 -ルンゼ取付き茶
  - 1:00 横尾
  - 2:00 徳沢

茶が遅れたのと連日の登攀で岩村さんが疲れ  
 のため 下部の2Pのみで中止

10 縦走合宿 (黒部湖 → 土高地)

7月16日 ~ 23日

L. 三野 豊田 松田 中村<sup>ア</sup> 中村<sup>ユ</sup>

7/16 7:30 ① 黒部発 トロイ - 八又Z.

① 黒部湖

2P

10:00 ① 夕ノ坪

3P

15:25 ① 東一ノ越 (T.S.)

炊火 松下太所に.

7/17 4:20 T.S 発

4P

9:00

14:15 ● 越中三岳の峰前 T.S 炊火  
風強く設置に苦労した。

7/18

① T.S 発

8:10 ① 石ノ乗越

2P

10:35 ① 間山のT-S ヤミテソだった。

7/19 4:05 ① T-S発

3P

● 薬師岳

3P

雨強シ

● 赤岳 手前の工口に設置木は東  
下在所に。設置後晴る。

7/20 4:20 ① T-S発

2P

6:35 ① 黒部五郎岳下

2P

9:00 ① 黒部五郎小屋

カ-111にはホ-119-が  
た-くさんある。

3P

11:45 ① 三俣蓮華岳

ホ-112として休んでしまった。

2:00 ① 三俣の小屋 T-S

この日は天-場代払わず

7/21 赤木三

4:10 ① T-S 発

3P ②=3③=3 雪がおり甚だ打。

7:10 ① 赤木三

11:05 ① 終了 中候乗越

2P

12:40 ① 黒部五郎岳

3P 雷雨に見舞われた。

11:00 ① T-S

7/22 ~~5:45~~ ① T-S

4:00

2P

6:13 ① 双六小屋

4P

11:40 ① 槍の肩小屋 T-S

槍のストリ

7/23 5:45 ① 天候特ちののち T-S 発

2P

8:00 ① 南岳 中候・② T-S 場あり。

3P

12:52① 北穂高岳

13:30 登

2P

15:55① 三回沢 夕暮に決て222下山

2P

17:30 横尾 松田 比太くち了。

3P 徳沢之反り会。

22:30 上高地

# 11 夏期縦走合宿 (五竜岳～上高地S.T)

メンバー) △川端, 瀬川, 飛田, 安田

日程) 7/16 ~ 7/26

行程, 記録)

・7/16 天候くもり

松本駅 ~~XXXXXXXX~~ 神城駅 → テレキャビン山麓駅 →  
7:20                      9:05                      9:40  
地蔵駅 → 見返り坂 → 小遠見山の次のビバーク →  
10:10 IP                      10:50 IP                      12:45                      2P  
大遠見山  
14:45

地蔵平駅から小遠見山までは、なだらかな坂と急な坂が  
つづき、荷の重さも加わってしんどかった。小遠見山を通過したあ  
たりで安田がサックマヒになり、大車をとって、大遠見山で  
ビバークする。ビバーク地点には登山道にあってテント場にな  
る所があり、その下にはこの池があり、たが一度沸かせば  
飲めるので大変にすかった。この日の行程でテント場になりそう  
な場所はここしか見あてられなかった。

・7/17 天候くもり

大遠見山T.S → 西遠見山 → 五竜山荘 →  
5:00                      IP                      5:40                      2P                      7:15                      2P  
五竜岳 → 赤坂午前  
10:05 3P                      13:05

大遠見山から五竜山荘までは、なだらかな上り坂になり



前日の行程よりはかたまり方になった。大遠見山と西遠見山の  
間にはテント場になりそうな場所がかなりあり、途中雪溪があり  
水にも不自由しない。また五竜山荘付近の水場は西遠見  
山から白岳1に向う途中で左に下ればすぐくめる。

五竜岳から鹿島槍方面に下る道はカレていて数か所危険  
ところがあった。この日も安田のサツマコがなまらず、早めにビ  
バー7する。ビバー7地点は赤抜の手前の登山道から左に少し  
はすいた場所で、風はふせげるが下が急なカケになっている  
ため多少危険であった。

○ 7/18 天候くもり。

T.S. → テレット小屋 → 鹿島槍山頂 →  
4:40 2P 6:40 3P 9:25 1P

冷池山荘 → 爺が岳山頂 → 種池手前  
11:25 2P 13:45 1P 15:00

鹿島槍山頂でツバガスが出ていて、風も強く展望はかなり  
悪かった。山頂からの水場は竿首山の方に少し下に地点  
に雪溪があり、川端がくんで来た。この日のビバー7地点は  
初めは種池山荘の手前であったが 19:00に山荘から注  
意をうけ、夕食後 21:00に正規のT.S.に着く。

◎ 教訓、ヤミテンはいいじゃない!! 山のモラルを守ろう!!

○ 7/19 天候くもりのち晴れ。

T.S. → 新越栗越山荘 → 針ノ木岳山頂 →  
7:00 2P 9:00 5P 15:00 1P

針ノ木谷 1800m地点

16:35

スバリ岳から針ノ木岳山頂まではかなりかれていてメットが必要だった。針ノ木岳から小屋までの道は6月の終りに行った時よりも登山道が整備されていてラッキーなことができた。針ノ木谷のテント場は伏流していた水が地表で流れはじめた地点より少し下り、右にそいた場所にある。水も不自由はない、平地と化しているのがかなり条件のよいテント場だった。

7/20 天候 くもりから雷雨

T.S → 本流との分岐 → 船窪乗越 →  
 6:15 1P      7:05      2P      10:10      1P  
 乗越より1kmくらい上は地点  
 11:15

針ノ木谷から船窪岳への道は取付きはわかりやすいが船窪乗越までの道が登山者が少なければ道が所々荒れ、道に迷いやすい。乗越から先の道は、不動沢側がくずれている危険な道だった。この日は南沢示までの予定だったが守田のザックマシがひどく乗越より1kmの地点でセバーする。

7/21 天候 くもりから雷雨

T.S → 船窪岳山頂 → 2299m のピーク →  
 7:25 4P      7:05      1P      8:40      4P  
 不動岳山頂 → 南沢岳 → 烏帽子岳手前  
 11:30      2P      13:55      1P      14:45

船窪岳への道はすでに沢側がくずれてあり、危険であった。ピークの手前にかつ所避難用とふしめるテント場があった。南沢岳には地図ではまだ道があるが、実際にはまだ道はなくなっていた。

7/22 天候 くもりのち晴れ

T.S → 鳥帽子小屋 → 野口五郎岳山頂 →  
4:55 1P      5:45      4P      9:35      3P

水晶小屋 → 三俣T.S  
12:55 2P      15:30

野口五郎岳山頂まで行くつもりが、咲きみだれ、一同じがたごんだ。水晶岳へのアタックを予定していたが、一年生に疲れが見えるため、とやめとなった。鷹羽岳山頂の手前で雷がおり、近くのゴックに落雷があったため全員ハイマツのカゲに一時避難し、30分くらい様子を見て三俣T.Sに下った。

7/23 天候 くもりのち晴れ

T.S → 赤木沢出合 → 大滝下 →  
5:35 2P      8:50      1P      11:25      1P

赤木沢終了点 → 黒部五郎山頂 → 三俣T.S  
12:40      1P      14:10      1P      17:10

この日は、おべの行程を沢登りにあてた。赤木沢は+X滝が多数あり、天候もさっぱりし、十分緊めに。大滝は高さ30mくらいあるが、刃道がついているので安心して登れる。大滝には3、2ハートンが数か所つてあるので登はんは可能である。赤木沢の終了点は大滝を少しのぼったところか2又にゆかいして、その左側を登った所に雪渓があり中俣乗越へと続いていた。

7/24 天候 晴れ

T.S → 三俣山頂 → 槍の肩 →  
7:10 1P      7:55      6P      15:15

槍の肩 T.S → 槍が岳山頂 → 槍の肩 T.S  
 15:30 16:30 18:00

三俣連華からは双六岳、松沢岳、をまいて槍が岳に向  
 った。槍が岳山頂では展望がよく360°、山々を楽し  
 むことができた。

7/25 天候 晴れのち曇り。

T.S → 南岳山頂 → フレット凹部 →  
 6:40 2P 8:30 2P 11:30 2P

北穂 T.S 着

14:00

この日はフレットも無事通過し、順調にヒッチを上げていた。  
 北穂 T.S では山行もあと1日とほめたので食料の食いつ  
 びを行ない、雪溪で冷たいソーメン、ゼリーがおいしいかった。  
 槍〜北穂間の水場は中岳の下にあり北穂 T.S の水  
 場は北穂山荘と、T.S の間の雪溪からとれる。

7/26 天候 晴れ

T.S → 北穂山頂 → 湘沢岳山頂 →  
 4:00 4:20 2P 10:30 1P

7:40  
 奥穂山頂 → 前穂山頂 → 上高地 S.T.  
 12:30 1P 15:00 2P 19:40

この日はまず T.S から北穂山頂に行き日の出を見たと  
 T.S にもどり朝食をとり、出発した。穂高山荘からは登山  
 者が多く、リトリ場でかほりまわされた。しかし、奥穂・前穂  
 のヒコで天候がよく最終日を楽しむことができた。

85' 夏山山行報告書

信州大学山岳会 SAC

印刷・発行 松本市旭3-1-1

S60年10月16日発行